

『medicina』 第 60 巻 総目次

2023年 第1号～第13号

(数字は頁数, ()は号数を示す.)
(4号(増刊号)は●頁以降に掲載.)

【特集】

■ 10年前の常識は非常識!? イマドキ消化器診療にアップデート

〈症候〉

「お腹の調子が悪い」患者をどう診るか？

……………横江 正道 16(1)

急性腹症……………小澤 尚弥 22(1)

便秘症

……緒方 智樹・結束 貴臣・中島 淳 28(1)

急性下痢—原因不明, 新型コロナウイルスも含めて

……………辛島 遼・小林 拓 34(1)

ピロリ菌感染症—ピロリ菌感染症の“今”を理解する

……間部 克裕・津田 桃子・久保 公利 41(1)

胸やけ・胃もたれなどの上腹部不定愁訴

……………浅岡 大介 46(1)

悪心・嘔吐, 食欲不振……………増井 伸高 52(1)

〈疾患〉

食道癌……………丹羽由紀子 57(1)

胃食道逆流症……………夏目まこと 62(1)

機能性ディスペプシア—これだけでわかる 機能性

ディスペプシア診療はどう進化したか？

……山本さゆり・小笠原尚高・春日井邦夫 70(1)

胃・十二指腸潰瘍(消化性潰瘍)

……………伊藤 恵介 76(1)

胃癌・早期胃癌(EMR/ESD)—胃癌治療10年の変化
～『胃癌治療ガイドライン』第3版と第6版の比較
から

……早川 俊輔・佐川 弘之・瀧口 修司 82(1)

十二指腸癌(十二指腸腫瘍)

……光永 豊・菊池 大輔・布袋屋 修 88(1)

大腸癌……………上原 圭 98(1)

大腸ポリープ……………蟹江 浩 104(1)

大腸憩室症—日常診療においてアップデートすべき

大腸憩室に関する5項目

……山田 英司・野中 敬・小松 達司 108(1)

炎症性腸疾患(IBD)……………長坂 光夫 112(1)

過敏性腸症候群……………田中由佳里 118(1)

急性虫垂炎—診断と治療(WSESエルサレムガイド

ラインより)……………新宮 優二 122(1)

B型肝炎, C型肝炎……………長谷川 泉 127(1)

NAFLD/NASH

……角田 圭雄・中島 淳・米田 政志 133(1)

肝細胞癌治療—最新の話題……………日下部篤宣 138(1)

胆石症, 急性胆管炎, 急性胆管炎

……………桐山 勢生 144(1)

胆道癌……………宮部 勝之 150(1)

急性膵炎, 慢性膵炎……………白井 邦博 157(1)

膵癌……………林 香月 165(1)

〈Column〉

最新の内視鏡診断法(内視鏡光源, NBI, TXI, RDI,

AI診断)に関する知見

……………藤吉 俊尚・山口 丈夫 94(1)

■ 慢性疾患診療のお悩みポイントまとめました—高血圧からヘルスマネジメントまで

〈座談会〉

慢性疾患を診るのに必要な視点とは？—求められる

“複眼的”診療

……長野 広之・大浦 誠・松島 和樹 226(2)

〈総論〉

慢性疾患のケアバンドルって何ですか？

……………松島 和樹 234(2)

慢性疾患のマルチモビディティは外来でどう意識した
らいいですか？……………大浦 誠 240(2)

慢性疾患に対する患者のモチベーションを上げるには
どうすればいいですか？

……………小澤 秀浩・小坂鎮太郎 244(2)

〈高血圧〉

高齢患者では高血圧の目標値をどう決めたらいいで
すか？……………渡辺 綾・會田 哲朗 250(2)

Ca拮抗薬をよく使うのですが, 注意することはあり
ますか？……………片山 皓太 254(2)

Ca拮抗薬, ACE阻害薬/ARB, さらにサイアザイ
ド系利尿薬を使用しても降圧目標に達しない場合,
どうしたらよいですか？

……………石瀬 裕子・本田 優希 258(2)

〈脂質異常症〉

脂質異常症の一次予防としての薬物療法はどんな患者
にすべきですか？

……………横田 雄也・松下 明 265(2)

スタチン以外の脂質異常症の薬は実際に使いますか？

……………水谷 肇 271(2)

〈糖尿病〉

高齢患者にSGLT2阻害薬, GLP-1受容体作動薬は

使うべきですか？
 ……國友耕太郎・吉村 文孝 275(2)
 DPP-4 阻害薬はどんな人に何を目標に使うべきですか？
 ……宮松 弥生・谷崎隆太郎 279(2)
 高齢患者の糖尿病治療の目標は何ですか？
 ……合田 建 283(2)
 糖尿病の血管障害ってどう診断，フォローすればいいですか？
 ……山里 一志 287(2)
 〈喘息，COPD〉
 喘息と COPD の吸入薬はたくさんありますが，高齢患者にはどれがおすすですか？
 ……森川 昇 291(2)
 〈COPD〉
 喘息のコントロールが悪いとき，生物学的製剤は考慮すべきですか？ その前に考えておくことはありますか？
 ……吉松 由貴 297(2)
 患者に禁煙してもらうにはどうしたらいいですか？
 ……豊田 喜弘 303(2)
 COPD 患者で HOT を導入するタイミングはいつですか？ 導入する際は何に注意すればいいですか？
 ……江原 淳 307(2)
 〈慢性心不全〉
 心不全に SGLT2 阻害薬，ARNI って使わないといけないですか？
 ……平松由布季 311(2)
 慢性心不全の増悪を防ぐにはどうすればいいですか？
 ……小野 雅敬・官澤 洋平 318(2)
 〈心房細動〉
 心房細動で DOAC は使ったほうがいいですか？
 DOAC の注意点はありますか？
 ……石塚 晃介 326(2)
 心房細動でアブレーションを意識する場面はどんなときですか？
 ……眞柴 貴久・大森 崇史 331(2)
 〈認知症〉
 認知症治療薬は何を目的に使えばいいですか？
 ……山藤光一郎・宮上 泰樹 336(2)
 認知症予防や BPSD の非薬物療法で使えるものがありますか？
 ……松本 朋樹 341(2)
 認知症では Alzheimer 病以外は どう診断し，何を注意すればいいですか？
 ……松原 知康 345(2)
 〈消化器〉
 便秘の患者で考えないといけないことはありますか？
 また，下剤の使い分けを教えてください
 ……大西 崇平・工藤 仁隆 349(2)
 GERD，消化性潰瘍，潰瘍予防で投与している PPI はいつまで続ければいいですか？
 ……木下慶一郎・明保 洋之 354(2)
 〈肝硬変〉
 肝硬変の患者では何に注意してフォローすればいいですか？
 ……菊川 翔馬・天野 雅之 359(2)

〈慢性腎不全〉
 慢性腎不全の患者を診る際に注意することを教えてください
 ……田代 温・近藤 敬太 365(2)
 腎性貧血はなぜ治療しないといけないんですか？
 薬の使い分けはありますか？
 ……中村 仁彦・山下 駿 371(2)
 〈骨粗鬆症〉
 骨粗鬆症の治療は超高齢者でも導入すべきですか？
 薬の使い分けはありますか？
 ……原田 拓 376(2)
 骨密度が検査できない場合，骨粗鬆症は診断できますか？
 フォローの骨密度の測定は必要ですか？
 ……松本百奈美・原田 侑典 380(2)
 ビスホスホネート製剤は 5 年以上続けるべきですか？
 ……佐藤 直行 386(2)
 〈サルコペニア〉
 高齢のサルコペニア患者はどうすればいいですか？
 どうやったら体重が増えますか？
 ……森川 暢・豊島 孝幸 391(2)
 〈不眠症〉
 不眠症の Tips あれこれ—複雑だからこそ状況別にまとめました—
 ……柴崎 俊一 398(2)
 〈ヘルスマンテナンス〉
 予防やスクリーニングなどのヘルスマンテナンスは高齢者でも行うべきですか？
 ……細川 旬・小杉 俊介 404(2)

■ 令和の脳卒中ディベート 10 番勝負—脳卒中治療ガイドライン 2021 とその先を識る

〈ガイドラインを識る〉
 脳卒中治療ガイドライン 2021 どこが進歩したか？
 ……板橋 亮 456(3)
 〈ディベート・セクション 10 番勝負〉
 《急性再開通治療：脳主幹動脈閉塞例に対する direct MT》
 Pro 機械的血栓回収療法の適応があれば rt-PA 前投与は不要である
 ……鈴木健太郎 460(3)
 Con 発症 4.5 時間以内で適応を満たせば，まず rt-PA を投与する
 ……中島 誠 463(3)
 編者からのコメント
 ……平野 照之 468(3)
 《急性期画像診断：灌流画像の有効性・必要性》
 Pro 発症 6 時間以内でも灌流画像によって治療適応を決めるべきである
 ……井上 学 470(3)
 Con 灌流画像は不要であり発症 6 時間以内は DWI コア体積で判断する
 ……植田 敏浩 477(3)
 編者からのコメント
 ……平野 照之 481(3)
 《非心原性脳梗塞に対する静注抗血栓薬(オザグレル，アルガトロバン)の使用》
 Pro 静注抗血栓薬を含むカクテル療法を活用する
 ……永金 義成 482(3)

Con DAPT を基本とし dual pathway inhibition よりも内服を主体に計画する……	河野 浩之	486(3)
編者からのコメント……	平野 照之	490(3)
《心原性脳塞栓症(心房細動例)に対する急性期ヘパリン投与》		
Pro 抗凝固療法はまずヘパリンから始める	植杉 剛・野川 茂	492(3)
Con ヘパリンは無意味であり、立ち上がりの早い DOAC で始める……	徳永 敬介	496(3)
編者からのコメント……	平野 照之	500(3)
《脳卒中の急性期リハビリテーション》		
Pro 脳卒中のリハビリテーションは発症後早期に開始すべきである……	角田 亘	502(3)
Con 脳卒中の病態が安定した後にリハビリテーションを開始する……	補永 薫・藤原 俊之	506(3)
編者からのコメント……	平野 照之	509(3)
《潜性脳梗塞患者における長時間心電図モニター検査》		
Pro 潜在性心房細動の有無は植込み型心電図モニターで3年間検索する……	山口 啓二	510(3)
Con 発作性心房細動は1週間モニターすれば十分である……	宮崎 雄一	514(3)
編者からのコメント……	平野 照之	518(3)
《塞栓源不明の脳塞栓症(ESUS)の治療》		
Pro ESUS の再発予防にはアスピリンを用いるべきである……	園田 和隆	520(3)
Con 再発予防に抗凝固療法を考慮すべき ESUS がある……	片野 雄大・木村 和美	523(3)
編者からのコメント……	平野 照之	527(3)
《脳梗塞の脂質管理》		
Pro 脳梗塞後の脂質管理は LDL-C<100 mg/dL を目指せばよい……	田中 亮太	528(3)
Con The lower, the better であり, LDL-C<70 mg/dL を目指す……	伊藤 義彰	532(3)
編者からのコメント……	平野 照之	536(3)
《DOAC 服用中に脳塞栓症を再発した心房細動患者に対する左心耳閉鎖術》		
Pro 出血ハイリスクがなくても積極的に実施する……	福富 基城・桃原 哲也	537(3)
Con 出血ハイリスクがなければ薬剤治療を継続する……	伊澤 良兼	542(3)
編者からのコメント……	平野 照之	545(3)
《脳卒中後てんかん：薬物治療の適応と開始時期》		
Pro 脳卒中急性期から予防的に抗てんかん薬を開始する……	松原崇一郎	546(3)
Con CAVE 高スコアでも急性症候性発作がなければ予防投与はしない……	田中 智貴	550(3)
編者からのコメント……	平野 照之	553(3)
《令和の脳卒中事情》		
脳卒中と循環器病克服5ヵ年計画	藤本 茂	554(3)

脳卒中センターの整備—一次脳卒中センター(PSC), PSC コア施設……	作田 健一・井口 保之	559(3)
脳卒中对策の基本となる登録事業と脳卒中データバンク……	和田 晋一・吉村 壮平・古賀 政利	564(3)
COVID-19 と脳卒中		
……	西山 康裕・木村 和美	568(3)
《読者の識りたいに答える》		
古くて新しい脳卒中症候学—mimics と chameleon ……	稲富雄一郎	572(3)
めまいと脳卒中—HINTS plus のビットフォール ……	工藤 洋祐・城倉 健	578(3)
テネクテプラーゼの開発動向……	長尾 毅彦	582(3)
見えてきた脳卒中細胞治療の臨床応用 ……	長内 俊也・寶金 清博	586(3)
脳卒中の遺伝子研究—RNF213 関連疾患 ……	岡崎 周平	590(3)

■ 臨床医からみた POCT

《総論》		
POCT への誤解, 運用・解釈の注意点 ……	大杉 泰弘	641(5)
セッティング別での血液・尿検体の POCT ……	森川 慶一	644(5)
POCT として使える画像・生理検査		
……	窪田 泰輔・野口 善令・上松 東宏	648(5)
血液, 尿以外の検体採取の注意点		
……	佐藤香菜子・丹羽 一貴	654(5)
診療所スタッフが行う検査機器・試薬などのメンテナンス, 精度管理, 検査結果の管理 ……		
……	三宅 紀子	658(5)
POCT の経済的側面……	下澤 達雄	662(5)
《日常診療と POCT》		
《外来診療》		
発熱外来を受診した発熱患者—新型コロナ抗原検査, インフルエンザ迅速検査の使い方 ……	磯矢 嵩亮・野口 善令	666(5)
咽頭痛患者—溶連菌・アデノウイルス迅速検査 ……	橋川 有里	670(5)
DOAC 内服患者が小出血イベントを起こしたとき ……	熊谷 祐紀	676(5)
喘息のある患者—スパイロメトリー, ピークフロー ……	久賀 孝郎	680(5)
発熱患者—クリニック外来でのプロカルシトニン迅速キットの活用……	豊岡 達志・安藤 諭	686(5)
意識障害患者—尿中薬物検査 ……	加藤 心良・安藤 諭	690(5)
肺炎疑い患者—マイコプラズマ抗原検査, 尿中レジオネラ抗原検査, 尿中肺炎球菌抗原検査 ……	安藤 諭	694(5)
頭痛を伴う発熱患者に対する POCT—jolt accentua-		

tionで髄膜炎の除外は可能なのか？	竹内 元規 698(5)
かゆみを伴う皮疹の患者—KOH法、抗原定性検査	梅沢 義貴 702(5)
下腹部痛を訴える女性患者—尿中hCG検査	林 路子 706(5)
性感染症(STD)疑いの男性患者—淋菌のグラム染色、尿中クラミジア抗原	山田 智也・安藤 諭 712(5)
《在宅診療》	
在宅患者への血液ガス分析器の運用	小笠原雅彦 717(5)
《実践》	
呼吸困難を訴える在宅患者—POCUSの活用	渡邊 賢秀・野口 善令 722(5)
排尿障害の在宅患者—超音波による残尿評価と治療戦略	橋川 有里 728(5)
在宅患者におけるCOVID-19…小笠原雅彦	734(5)
急性の下肢浮腫—超音波検査の活用	平嶋竜太郎 737(5)
心不全既往のある患者—超音波による体流量推定と診断・治療への応用	西村 涼・野口 善令 742(5)
災害医療における超音波検査によるPOCTの実践—DVTハイリスク避難者に対する対応	高瀬 信弥 748(5)

■ Common diseaseの処方箋ファイル—臨床経過から学ぶ20症例

CASE 1 高血圧—2型糖尿病の既往がある62歳男性	矢吹 拓・青島 周一 804(6)
CASE 2 心房細動—昨日から動悸を強く感じ診療所を受診した75歳男性	小田倉弘典 810(6)
CASE 3 慢性心不全—高血圧症、脂質異常症の既往のある、糖尿病の既往のない65歳男性	官澤 洋平 816(6)
CASE 4 COPD—重喫煙歴がある73歳男性	倉原 優 824(6)
CASE 5 逆流性食道炎—のどのつかえ感と胸痛を主訴に来院した41歳男性	中野 弘康 830(6)
CASE 6 便秘—便秘症状を訴える42歳女性	三原 弘 836(6)
CASE 7 尿路感染症—受診当日からの排尿時痛で外来を受診した25歳女性	長野 広之 842(6)
CASE 8 帯状疱疹—昨日の夜間より左前胸部痛が出現した72歳男性	鋪野 紀好 848(6)
CASE 9 慢性腎臓病—半年前から糖尿病、CKDで通院している60歳男性	柴崎 俊一 854(6)
CASE 10 認知症—物忘れを主訴とする76歳女性	田丸 聡子・原田 拓 860(6)

CASE 11 片頭痛—片側性の悪心を伴う拍動性の頭痛を訴える45歳女性	吉田 花圭・家 研也 866(6)
CASE 12 糖尿病—2型糖尿病での内服治療継続が難しくなってきた76歳女性	小比賀美香子・本多 寛之 874(6)
CASE 13 甲状腺機能低下症—発熱、湿性咳嗽、膿性喀痰が出現した72歳女性	荻原 理子・家 研也 882(6)
CASE 14 高尿酸血症—生来健康な41歳男性	矢吹 拓・青島 周一 888(6)
CASE 15 脂質異常症—脂質異常症と糖尿病の治療を希望して来院した62歳男性	山本 祐 894(6)
CASE 16 骨粗鬆症—市中肺炎で入院した85歳女性	島田 侑祐・原田 拓 900(6)
CASE 17 鉄欠乏性貧血—職場の健康診断で貧血を指摘され来院した38歳女性	山本 祐 906(6)
CASE 18 アレルギー性鼻炎—生来健康な32歳男性	中山 梨絵・正木 克宜・若林健一郎 912(6)
CASE 19 偽痛風(CPPD症)—腎機能障害があり関節症状が持続している67歳男性	宍戸 諒平・鶴木 友都 920(6)
CASE 20 不眠症—「眠れないのを何とかしてほしい」と訴える72歳女性	田宗 秀隆 928(6)

■ 整形外科プライマリ・ケア—内科医が知りたい整形外科疾患のすべて

〈各医療機関の立場から〉	
《開業医の立場から》	
整形外科の開業医の立場から	田邊 剛・田邊 亜矢 982(7)
内科の開業医の立場から	大湾 喜行・矢澤 聡 988(7)
《中核病院・大学病院の立場から》	
大学病院の整形外科医の立場から—病診連携を考える	石井 秀明・池上 博泰 992(7)
救命センターの救命救急医の立場から	日比野将也・植西 憲達 996(7)
〈ここまでやりたい、処置や手技〉	
関節穿刺	田島 康介 1002(7)
創傷に対する処置の考え方	田島 康介 1007(7)
局所麻酔と縫合	田島 康介 1011(7)
爪の「脱臼」と処置	田島 康介 1016(7)
〈主訴別編〉	
肩が痛い、腕が上がらない	大木 聡 1018(7)
肘が痛い	森澤 妥 1024(7)
手首が痛い	鈴木 拓 1032(7)
手指が痛い、動かない	鈴木 拓 1038(7)

首が痛い、回らない、肩甲骨背部が痛い	井上 知久 1044(7)
腰が痛い	土肥 透 1050(7)
上肢がしびれる、麻痺する	丹治 敦 1054(7)
下肢がしびれる、麻痺する	池澤 裕子 1060(7)
股関節が痛い	西脇 徹 1066(7)
膝が痛い	高木 博 1072(7)
下腿が痛い	田島 康介 1078(7)
足が痛い	吉本 憲生 1086(7)
あちこちの関節が痛い	日比野将也 1092(7)
小児一急に腕を動かさなくなった、急に歩かなくなった	田島 康介 1104(7)
〈疾患編〉	
骨・軟部腫瘍—プライマリ・ケア医が知っておくべき診療のポイント	小林 英介 1112(7)
軟部組織の疾患	湯川 貴史 1118(7)
脊椎の骨折	玉木 亮 1124(7)
脊髄の疾患	辻 崇 1130(7)
化膿性脊椎炎・腸腰筋膿瘍	辻 崇 1136(7)
関節リウマチなどの膠原病	王 興榮 1140(7)

■浮腫と脱水—Q&Aで学ぶジェネラリストのための体液量異常診療

〈体液量異常の診断〉

浮腫の鑑別診断

一浮腫を生じる疾患は？／鑑別診断を行ううえでのポイントは？／初診外来で特に気をつけるべきことは？	永瀬 宏哉・藤田 芳郎 1190(8)
浮腫の性状から疾患を予測できる？ 浮腫のフィジカル	
一浮腫の身体所見の取り方は？／入院患者で診るべきポイントは？／身体所見である程度鑑別できる？／片側性浮腫で疑うべき疾患は？	中野 弘康 1196(8)

浮腫の病態生理

一細胞外浮腫の病態生理について教えてください／浮腫を防ぐ身体メカニズムについて教えてください	門多のぞみ・長浜 正彦 1202(8)
--	---------------------

輸液をすれば終了？ 脱水の鑑別診断

一脱水患者には輸液を行うだけでよい？／脱水患者で聴取すべき事柄は？	加藤 規利 1206(8)
-----------------------------------	---------------

脱水のフィジカル

一脱水と診断するうえでの重要な身体所見は？／起立性低血圧の診断方法は？	樋口 大 1210(8)
-------------------------------------	--------------

脱水症の病態生理

一体液コンパートメントについて教えてください／脱水症の病態について教えてください	佐藤菜摘美・谷澤 雅彦 1216(8)
--	---------------------

体液量異常の診断に役立つエコー活用術

一下大静脈(IVC)での体液量評価の方法は？／POCUSで右房圧(RAP)を推定できると聞きました、その方	
---	--

法を教えてください／実地臨床に役立つエコーでの体液量評価方法は？	金原 佑樹 1220(8)
----------------------------------	---------------

体液量異常の診断に役立つ検査

一体液量増加の評価に役立つ検査は？／体液量減少の評価に役立つ検査は？	廣瀬 知人 1226(8)
プライマリ・ケア医が知っておくべき心エコー所見	
一浮腫の症例において、数あるエコー所見のなかで特に注意すべき所見は？	山下健太郎 1230(8)
〈浮腫をきたす疾患の診断とそのマネジメント〉	
心不全における体液量異常の病態とそのマネジメント	
一心不全の体液量過剰の病態は？／心不全に対するマネジメント(特に初療)は？	中野 雄介・安藤 博彦 1236(8)

腎疾患による浮腫のメカニズムとマネジメント

一腎疾患で腹水や浮腫が生じるメカニズムは？／腎疾患における細胞外液量増加に対するマネジメントは？	浅野麻里奈 1242(8)
--	---------------

肝硬変による浮腫のメカニズムとマネジメント

一肝硬変で腹水や浮腫が生じるメカニズムは？／肝硬変における細胞外液量増加に対するマネジメントは？	伊藤 隆徳・石上 雅敏・川嶋 啓揮 1248(8)
--	---------------------------

甲状腺疾患による浮腫のメカニズムとマネジメント

一甲状腺機能異常で浮腫が生じるメカニズムは？／甲状腺機能異常における細胞外液量増加に対するマネジメントは？	富永 隆史 1253(8)
---	---------------

薬剤性による浮腫

一薬剤性浮腫の原因は？／特に臨床上で頻度が多いのに忘れがちなものは？	三林 建太・龍華 章裕 1258(8)
------------------------------------	---------------------

ビタミンB₁(チアミン)欠乏による浮腫

一ビタミンB ₁ 欠乏を疑うきっかけは？／浮腫以外の臨床症状は？／治療方法について教えてください	志水 英明 1262(8)
---	---------------

リンパ浮腫の診断、予防と治療

一どのようなときにリンパ浮腫を疑いますか？／リンパ浮腫のマネジメントについて教えてください	北村 薫 1268(8)
---	--------------

見逃してはいけない浮腫性疾患

一致死的な浮腫性疾患を見つけるのに重要な所見を教えてください／致死的な浮腫性疾患にはどんなものがある？	坂本 壮 1274(8)
---	--------------

〈利尿薬の使い方と注意点〉

ループ利尿薬の使い方と注意点

一ループ利尿薬を投与する際に注意すべきことは？／腎機能が悪いときに、フロセミドの用量を増やすのはなぜ？	山口 真 1279(8)
---	--------------

トルバプタンの使い方とその注意点

一トルバプタンの適応となる症例は？／実際の投与計画について教えてください／トルバプタンの効果に関する予測指標にはどのようなものがありますか？	
--	--

……………丑丸 秀・富永 直人 1286(8)	
利尿薬抵抗性の病態とマネジメント	
—利尿薬抵抗性の病態について教えてください／利尿薬抵抗性に対するマネジメントについて教えてください……………杉本 俊郎 1292(8)	
〈脱水をきたす疾患に対する具体的なマネジメント〉	
脱水症に対する輸液戦略	
—脱水症の症例に対する輸液で気をつけることは？／脱水症に対する輸液を行う際に、注意すべき臨床的パラメーターはありますか？……………坂本 敦・市川 大介 1296(8)	
敗血症に対する輸液療法	
—敗血症に対する初期輸液での輸液製剤の種類、ガイドラインでの推奨について教えてください／グリコカリックスとは何ですか？／なぜ HES は推奨されないのでしょうか？／アルブミン製剤の立ち位置を教えてください／どの品質液の使用が好ましいですか？／敗血症の初期輸液の適切な投与量は？……………福家 良太 1300(8)	
輸液必要性和輸液反応性	
—輸液必要性和輸液反応性について教えてください／輸液反応性の静的・動的指標について教えてください……………後藤 緑 1306(8)	
輸液療法による注意点と治療評価	
—高齢者の輸液で注意することは？／輸液療法を行ううえで、注視すべき指標は？……………座間味 亮 1312(8)	
〈Column〉	
体液量異常を診療するときに役立つ初心者のためのクリニカルパール……………永瀬 宏哉・藤田 芳郎 1318(8)	
■ 症例から読み解く 高齢者診療ステップアップ	
〈Editorial〉	
高齢者診療のステップアップに必要な5つのトピックとは？……………木村 琢磨 1370(9)	
〈“こころ”と“身体”の臨床〉	
高齢期のこころ—老年期うつ病、認知症を中心に……………新井 久稔・松尾 幸治 1374(9)	
高齢者における医療面接……………木村 琢磨 1380(9)	
認知機能が低下した身体合併症を診療するコツ……………洪 英在 1386(9)	
〈外来で可能な機能評価アップグレード〉	
口腔・嚥下機能評価……………金森 大輔 1391(9)	
高齢ドライバーに対する外来での認知機能評価……………朴 啓彰 1396(9)	
転倒リスク評価……………川村 皓生 1402(9)	
〈QOL 向上のための非薬物療法〉	
独居高齢者にお勧めの食事指導……………宮内 眞弓 1408(9)	
便失禁に対する骨盤体操……………吉岡 和彦 1412(9)	

皮膚痒痒症のスキンケア指導……………常深祐一郎 1416(9)	
〈治療適応を吟味する〉	
高齢者の貧血……………勝見 章 1423(9)	
高齢者の潜在性甲状腺機能低下症……………藤原 元嗣 1430(9)	
高齢者の Parkinson 病—高齢での発症を中心に……………鈴木 幹也 1435(9)	
〈非特異的病態を理解する〉	
内科救急疾患の非特異的症状……………鈴木 亮 1438(9)	
高齢者のてんかん—意識障害をきたす疾患の鑑別が重要……………長井 篤・青木 慶仁・岡崎 亮太 1444(9)	
低血圧の臨床—起立性低血圧や食後低血圧から……………石川 譲治 1449(9)	
〈薬物療法を再考する〉	
高齢者における服薬支援—薬剤師の視点から……………玉城 武範 1454(9)	
降圧薬の減薬・中止……………山本 浩一 1463(9)	
低血糖予防と糖尿病治療薬の減薬・中止基準……………工藤 貴徳 1469(9)	
ビスホスホネート(BP)製剤の中止基準……………小牧 亘 1474(9)	
睡眠薬の減薬・中止の目安と対処法……………岡 靖哲 1480(9)	
抗凝固薬、抗血小板薬の減薬・中止基準……………石井 充・赤尾 昌治 1485(9)	
プロトンポンプ阻害薬(PPI)の中止基準……………今枝 博之・宮口 和也・都築 義和 1490(9)	
〈生活支援と医療安全〉	
意思決定能力の判定—医療・介護を要する独居高齢者の事例から……………白山 靖彦・北村 美渚・臼谷佐和子 1496(9)	
入院リスクの説明と同意—入院関連合併症の予防・対策……………太良 史郎・山田 康博 1500(9)	
入院後のせん妄—予防のための方略……………大石 智 1506(9)	
看護師と連携した包括的支援……………北西 史直 1510(9)	

■ ミミッカー症例からいかに学ぶか

〈座談会〉	
ミミッカーに騙されないための方略とは……………國松 淳和・佐田 竜一・綿貫 聡 1576(10)	
〈各論：思い出のミミッカー症例〉	
クモ膜下出血が否定できればそれで OK ?……………長野 広之 1584(10)	
慢性多関節炎で騙しにきた偉大なるあの疾患……………松尾 祐介 1588(10)	
徐々に進行する意識障害をきたす脳炎といえど？……………阪下健太郎 1594(10)	
原因不明のイレウス !?……………中野 弘康 1598(10)	

真っ黒な壁のその奥に…… 矢吹 拓 1604(10)
 診断はつかなくても治療できていました
 …… 伊藤 裕司 1608(10)
 どうせまたコロナでしょ！と思ったら……
 …… 木村 武司 1612(10)
 治らない褥瘡…… 岡田 佳子・濱井 彩乃 1616(10)
 リンパ腫の再発!?…… 清水 郁夫 1621(10)
 口が開かないのは裏庭で顎をぶつけたから…?
 …… 佐々木陽典 1624(10)
 多彩な臓器障害が随伴する遷延性発熱は“SSALT”!?
 …… 上原 孝紀・簀原 昌志・李 宇 1628(10)
 それってホントに片頭痛!?
 …… 関根 萌・菅野 裕樹・高田 俊彦 1633(10)
 「知っている」「理解している」「できる」には大きな
 隔りがある…… 東 光久 1638(10)
 CIDP かと思ったが治療への反応がイマイチ……
 さて何を考える?…… 土肥 栄祐 1642(10)
 診断がつかないときにどうするか
 …… 松原 知康 1646(10)
 頭痛+発熱+意識障害=髄膜炎?
 …… 西村 拓人・柳 秀高 1652(10)
 高齢者でも B19V を忘れることなかれ……
 …… 鈴木 森香 1656(10)
 「初めての尿管結石」にご用心…大高 由美 1661(10)
 好意的な議論により診断が“変身”!?
 …… 竹之内盛志 1664(10)
 馬鹿にならない疾患です…… 玉井 道裕 1668(10)
 起床時に発症した下垂足といえよ!?
 …… 原田 拓 1673(10)
 “To be radiated or not to be, that is the question”
 (放散痛か、そうでないのか、それが問題だ)
 …… 鈴木 智晴 1676(10)
 転倒歴があるから圧迫骨折?…… 本郷 舞依 1680(10)
 知っていることも時に罪…… 三澤 美和 1684(10)
 外科的急性腹症にしては変…?
 …… 佐藤 直行 1690(10)
 治らない「免疫不全者」の虫垂炎
 …… 塚田 訓久 1695(10)
 発熱と下腿潰瘍と紫斑でリウマチ科に来たら…?
 …… 山本 真理 1699(10)
 若年女性の“胃腸炎”は要注意…河東 堤子 1702(10)
 発熱があるからといって、詳しい問診は「さけて」
 通れない…… 吉田 英人 1706(10)

■ 患者さんの質問にどう答えますか?—言葉の意味 を読み解きハートに響く返答集

〈座談会〉

AI時代に診察室での患者と医師の会話はどう変わる?

…… 石川 翔吾・川添 愛・
 尾藤 誠司・松村 真司 1762(11)

〈そもそも論〉

- Q1. 内科はどんな問題を扱ってくれる科でしょうか?
 …… 山田 康博 1768(11)
 Q2. 内科は何歳から受診できるのですか?
 …… 山田 康博 1770(11)
 Q3. 私は特に何の症状もありますが、それって
 健康ってことですよね?
 …… 黒木 史仁・本村 和久 1773(11)
 Q4. 検査の正常値と異常値はどうやって決めている
 のですか?…… 本村 和久 1776(11)
 Q5. 健康診断は何を診断しているのですか?
 …… 安藤 明美 1778(11)
 Q6. どのような状態になったら「死んだ」と言えるの
 ですか?…… 今永 光彦 1781(11)
 Q7. ぼっくり死にたいのですが、どうするのがよい
 ですか?…… 今永 光彦 1784(11)
 Q8. “長生き”するためには、何に注意すればよいで
 すか?…… 木村 琢磨 1786(11)
 〈簡単そうで難しい質問〉
 Q9. 血圧って何ですか? 血圧が高いのはなぜいけな
 いのですか?…… 有田 卓人 1790(11)
 Q10. 血圧は1日何回測ればいいですか?
 …… 有田 卓人 1792(11)
 Q11. 脈拍をみることでどんなことがわかるのです
 か?…… 林 智史 1794(11)
 Q12. 体温って何を表わしていますか? 私の平熱は
 何℃ですか?…… 林 智史 1796(11)
 Q13. パルスオキシメーターは何を測っているのです
 か? 95%以下だと救急車を呼んだほうがいいのかと言
 われたので心配です。…… 林 智史 1798(11)
 Q14. 動脈硬化って何ですか? どうすれば治ります
 か?…… 大西由希子 1800(11)
 Q15. 血液ドロドロ、サラサラってよく聞きますが、
 それってどういう状態ですか?
 …… 大西由希子 1802(11)
 Q16. がんはなぜ転移するのですか?
 …… 竹内 麻理 1804(11)
 Q17. 睡眠は8時間はとらないと体に悪いですよね?
 何時間寝ればよいのでしょうか?
 …… 都留あゆみ・松井健太郎 1806(11)
 Q18. 尿って何ですか? どのくらいの尿の出方が
 正常なのでしょう?…… 安田 隆 1810(11)
 Q19. 便って何ですか? どんな便が正常ですか?
 …… 横江 正道 1814(11)
 Q20. 食べてなければ排便はないはずなのに、なぜ
 出るのですか?…… 横江 正道 1817(11)
 Q21. 血管の中でなぜ血は固まらないのですか?
 なのになぜ血栓ができるのですか?
 …… 宮崎 仁 1820(11)
 Q22. ワクチンってなぜ効果があるのですか? 副反

応のないワクチンはなぜないのですか？
 ……中山久仁子 1822(11)

〈診療編〉
 〈診察・検査〉

Q23. 聴診器では何の音を聴いているのですか？
 ……北村 大 1826(11)

Q24. 内科の先生はおなかを触って何をしていますんですか？
 ……平島 修 1828(11)

Q25. 心臓に雑音があるって言われましたが、それってどういうことですか？
 ……角田那由香 1830(11)

Q26. 心電図って、何がわかるんですか？
 ……角田那由香 1833(11)

Q27. レントゲン写真って、なんで体の中が見えるのですか？
 ……朝日 公一 1836(11)

Q28. 超音波検査って何をみているのですか？ CTとどう違うのですか？
 ……亀田 徹 1840(11)

Q29. CTとMRIの違いは何ですか？
 ……朝日 公一 1844(11)

Q30. 尿検査では何をみているのですか？
 ……太良 史郎 1848(11)

Q31. 血液検査でわかるものをすべて調べてください。詳しく血液検査をすれば健康かどうかわかりますよね？
 ……太良 史郎 1850(11)

Q32. アレルギーだと思うのですが、アレルギーを全部調べてくれますか？
 ……星 哲哉 1852(11)

Q33. こんなに調子が悪いのに、検査ではなんともないと言われました。どうすればよいですか？
 ……星 哲哉 1855(11)

Q34. がんが心配です。どんな検査をするのが一番いいですか？
 ……奈良江梨子・公平 誠 1858(11)

Q35. 健診で測った腫瘍マーカーの値が少し高いと言われました。がんではないでしょうか？
 ……奈良江梨子・公平 誠 1861(11)

Q36. コロナの検査が陰性なら大丈夫なんじゃないですか？ 仕事に行ってもいいですよね？
 ……尾田 正仁・森 伸晃 1864(11)

Q37. コロナの抗原検査とPCR検査とはどこが違うんですか？
 ……尾田 正仁・森 伸晃 1866(11)

〈予防・治療〉

Q38. 運動は1日何分やれば十分でしょうか？
 ……岡崎研太郎 1868(11)

Q39. 食事でも運動も気を付けているのに、なぜ体重が減らないんですか？
 ……岡崎研太郎 1872(11)

Q40. お酒は飲みすぎるといけないと言われますが、どのくらいなら大丈夫ですか？
 ……加藤 篤之・川口満理奈・大塚 文男 1874(11)

Q41. サプリメントは飲んでいいですか？ 飲んだほうがいいですか？
 ……副島 佳晃・川口満理奈・大塚 文男 1878(11)

Q42. ボケないためには、何をすればよいですか？

……………坂戸慶一郎 1881(11)

Q43. 健康診断のオプションは何を追加すればよいですか？
 ……宮崎 景 1885(11)

Q44. 健診でピロリ菌抗体が陽性と言われました。どうすればよいですか？
 ……宮崎 景 1888(11)

Q45. 妊娠しているかもしれません。薬を飲んでも大丈夫ですか？
 ……明石 芽未・岩田 智子・鳴本敬一郎 1891(11)

Q46. 血圧の薬は死ぬまで飲まないといけなくと言われました。本当ですか？
 ……一戸由美子 1894(11)

Q47. コレステロールの薬はいつ(どのタイミングで)飲めばよいですか？
 ……一戸由美子 1896(11)

Q48. 認知症にならないための薬がほしいです。よい薬はありますか？
 ……木村 琢磨 1899(11)

Q49. 睡眠薬がほしいです。友達がこの薬は軽いから安全と言っていました。処方してくれませんか？
 ……松井健太郎 1902(11)

Q50. 以前処方してもらってとっておいた薬が家にあります。飲んでいいですか？
 ……三澤 美和 1905(11)

Q51. 以前この抗生剤でよかったのに、なぜ今回は処方してくれないのですか？
 ……三澤 美和 1908(11)

Q52. 漢方薬には副作用はないから安心ですか？
 ……榎尾 明彦 1911(11)

Q53. お薬が多すぎるので減らしたいです。どうすればよいですか？
 ……矢吹 拓 1914(11)

〈医療制度編〉

Q54. オンライン診療はなぜ反対する人がいるのですか？
 ……吉田 伸 1919(11)

Q55. どうして予約したのにこんなに待たなければいけないのですか？
 ……高橋 啓悟・吉田 伸 1922(11)

Q56. 平日は仕事があるので病院に行けません。救急の時間に行ってもいいですか？
 ……菅長 麗依 1925(11)

Q57. なぜ自由に病院に行けないのですか？ どうして紹介状を持ってこないと言ってくれないのですか？
 ……菅長 麗依 1928(11)

Q58. 入院になるかどうかは誰が決めているのですか？
 ……鈴木 智之・和田 幹生 1931(11)

Q59. どういう状態になったら退院できますか？
 ……浦田 恵里・三原 雅人 1934(11)

Q60. セカンドオピニオンを受けるにはどうすればよいですか？ 担当の先生は気を悪くしませんか？
 ……富田 詩織 1936(11)

Q61. 食欲がないのでビタミン剤がほしいのに、どうして処方してくれないんですか？
 ……富田 詩織 1939(11)

Q62. 保険が利く薬と利かない薬は何が違うのですか？
 ……平山 陽子 1942(11)

Q63. ジェネリック医薬品って何ですか？ 飲んでも大丈夫ですか？……………平山 陽子 1944(11)

Q64. 治療費がかかりすぎて生活が苦しいです。どうすればよいですか？……………舟越 光彦 1946(11)

Q65. 医師を目指しています。医師免許はどのようにして与えられるのですか？……………武田 裕子 1949(11)

Q66. 「学会のため休診」とありましたが、学会って何をしているところですか？……………矢吹 拓 1952(11)

Q67. 専門医って何ですか？ 認定医と専門医では何が違うのですか？……………矢吹 拓 1954(11)

Q68. 医師の間では、どのような意見が正しいとみなされるのですか？……………矢吹 拓 1956(11)

〈説明・回答にまつわるエトセトラ〉

伝える力……………大野 每子 1789(11)

身体診察が患者に語るもの……………金城 光代 1809(11)

難治の慢性疾患につきあうのは誰？……………川島 篤志 1843(11)

「治るんですか？」……………清田 雅智 1884(11)

自分はどうしてこんなに体調が悪いのですか？
～『ドクターショッピング』をする患者さん……………米本 崇子・塚田(哲翁)弥生 1890(11)

「腰にご先祖様の霊が憑いて困っている」と相談されたら～物語能力の使い方……………宮崎 仁 1898(11)

初めて会う患者さんに～教訓的な症例から……………北野 夕佳 1916(11)

看取りで医師ができること……………宮本 翔平・塩尻 俊明 1938(11)

■ 内科医が遭遇する皮膚疾患フロンティア—「皮疹」は現場で起きている！

〈総論 皮膚科医に相談する「その前に」〉

皮膚科医の思考を先取りし、押さえるべき情報とは？
—コンサルテーションでは7つのポイントが重要！……………田口詩路麻 2018(12)

皮膚科医に伝える！ 研修医や他科の医師でも記載できる「皮疹」表現—5つの要素を踏まえて表現する……………田口詩路麻 2021(12)

たかがステロイド外用薬、されどステロイド外用薬—どう使い分け、どう使用する？……………田口詩路麻 2027(12)

〈Column〉皮膚科部長の独り言

皮膚科に相談する前にしてもいいこと、ダメなこと①
やけどの水疱は潰すべきだろうか？ 何もしないほうがよいだろうか？……………田口詩路麻 2031(12)

皮膚科に相談する前にしてもいいこと、ダメなこと②
本当に「水虫」？ 見た目で判断してもよい？ 処方するならステロイド外用薬？……………田口詩路麻 2032(12)

〈実践ケーススタディ よく遭遇する皮膚の困りゴト〉

全身が赤くなった—季節の変わり目に増悪した紅皮症……………市川 彩夏・山中 恵一 2033(12)

全身が赤くなった—薬剤中止後も遷延する発熱と皮疹……………水野 雄斗・渡邊 裕子・山口 由衣 2037(12)

関節が痛くなった—爪甲の観察が重要……………安田 正人 2043(12)

下肢に「赤い発疹」が出た—先行して上気道症状がみられる……………小西 里沙・沖山奈緒子 2047(12)

四肢に「赤い発疹」が出た—上気道炎治療後に出現した両側下腿の発疹……………松村 裕 2051(12)

水疱が出現した—多発する水疱やびらん、紅斑で何を想起する？……………氏家 英之 2055(12)

水疱が出現した—全身に小水疱が散在している……………川内 康弘 2059(12)

水疱が出現した—手掌足底がガサガサ赤くなって膿をもってきた……………古田 淳一 2064(12)

全身が痒い—場所を変えて出現する膨疹……………水野 隼登 2069(12)

全身が痒い—強い痒みを伴う発疹……………神崎 美玲 2073(12)

全身が痒い—全身に掻痒と皮疹が出現した透析患者……………大矢 和正 2077(12)

顔にニキビができた？—尋常性痤瘡、酒皰、酒皰様皮膚炎……………林 伸和 2081(12)

顔にニキビができた？—抗がん薬治療中に出現した発疹……………並川健二郎 2085(12)

発熱と発疹—下腿発赤に出現した紫斑や水疱……………白築 理恵・山崎 修 2089(12)

発熱と発疹—山歩き後に出現した全身の発疹……………遠藤瑠璃子 2093(12)

〈各論 内科医が診る皮膚疾患：初期対応とコンサルテーション〉

皮膚筋炎—爪囲の所見をよく確認する！……………藤本 学 2098(12)

強皮症—皮膚症状を手がかりに診断を進める……………遠藤 雪恵 2101(12)

円形脱毛症—診断のポイント……………福山 雅大・大山 学 2105(12)

アトピー性皮膚炎—ステロイド外用薬を中心とした外用治療を基本に……………石井 良征・乃村 俊史 2109(12)

爪白癬・足白癬—確定診断できない場合には治療を行わずにコンサルト！……………常深祐一郎 2113(12)

梅毒—手掌や足底、体幹に散在する痒みのない紅斑……………加藤 雪彦 2119(12)

皮膚カンジダ症・脂漏性皮膚炎—間擦部位の紅斑なら前者、脂漏部位の紅斑なら後者を想起……………アマデアル亜毳 2125(12)

巻き爪・陥入爪—短期的・中長期的な治療を分けて

考える……………	桑原 大樹	2128(12)
皮膚悪性腫瘍(基底細胞癌)—母斑や脂漏性角化症、 悪性黒色腫、尋常性疣贅、壊疽性膿皮症などとの 鑑別を！……………	石月翔一郎	2132(12)
皮膚悪性腫瘍(悪性黒色腫)—疑ったら専門施設に紹介 を！……………	藤澤 康弘	2136(12)
皮膚悪性腫瘍(有棘細胞癌)—顔面に生じた難治性の 結節……………	中村 泰大・森 龍彦	2141(12)
褥瘡—DESIGN-R [®] でアセスメントし、治療選択する ……………	安部 正敏	2144(12)
熱傷—受傷部位、熱傷深度と熱傷面積から考える ……………	伊藤 周作	2148(12)

■ 一般医家のための DOAC 時代の心房細動診療

〈序論〉

序論—伏見 AF レジストリからみた DOAC 登場後の 10 年……………	赤尾 昌治	2209(13)
---	-------	----------

〈心房細動の病態と診断〉

心房細動の疫学と病態生理……………	三明淳一郎	2214(13)
心房細動の診断と早期検出……………	川治 徹真	2220(13)
心エコーとバイオマーカー……………	手塚 祐司	2226(13)
心房細動の病型分類……………	高林 健介	2230(13)
治療方針の立て方……………	篠原 徹二	2234(13)
脳梗塞のリスク評価……………	富田 泰史	2238(13)
出血のリスク評価……………	小谷英太郎	2244(13)
心房細動と高血圧・糖尿病……………	加藤 武史	2250(13)
心房細動と心不全……………	井口 守丈	2255(13)
心不全発症のリスク評価……………	濱谷 康弘	2260(13)
心房細動患者の死因……………	安 珍守	2264(13)

〈心房細動の薬物治療と管理〉

4 つの DOAC をどう使い分ける？ ……………	鈴木 信也	2268(13)
DOAC は用量が少ないほうが安全？ —「脱 under-dose」のススメ……………	鈴木 信也	2274(13)
ハイリスク症例に DOAC をどう使う？ ……………	吉田 哲郎	2280(13)
どんな患者にワルファリンを使う？ ……………	奥山 裕司	2286(13)
周術期にワルファリンや DOAC はどうする？ ……………	武居明日美	2290(13)
抗凝固療法が必要な冠動脈疾患患者に対する抗血栓療 法はどうする？ ……………	小牧 聡一・松浦祐之介・海北 幸一	2296(13)
DOAC 使用中の出血はどうする？ ……………	矢坂 正弘・橋口 良也・風川 清	2300(13)
レートコントロール治療はどうする？ ……………	藤野 紀之	2304(13)
リズムコントロール治療はどうする？ ……………	井上 啓司・大倉 孝史	2309(13)
人工透析患者の抗凝固療法は？		

……………	山下 侑吾	2314(13)
開業医の心房細動診療のポイントは？ ……………	平田 明生	2318(13)
〈心房細動の非薬物治療〉 どんな患者を電氣的除細動する？ ……………	吉澤 尚志	2324(13)
どのような患者をアブレーションに紹介する？ ……………	井上 耕一	2329(13)
アブレーションの現状と将来展望は？ ……………	田中 宣暁	2334(13)
アブレーションは患者予後を改善する？ ……………	江里 正弘	2340(13)
左心耳閉鎖デバイスと左心耳閉鎖術の現状は？ ……………	増田 正晴	2346(13)
未来の心房細動診療に向けて……………	中野由紀子	2350(13)

【ローテクでもここまでできる！

おなかのフィジカル診断塾】

おなか膨満している その 3 肝嚢胞のフィジカル —腹部膨満 + α の症状に注目……………	中野 弘康	1(1)
おなか膨満している その 4 腹水のフィジカル —病歴と視診・打診から腹水貯留をみつけよう！ ……………	中野 弘康	209(2)
おなか膨満している その 5 肝硬変のフィジカル —総論……………	中野 弘康	441(3)
おなか膨満している その 6 肝硬変のフィジカル —各論 1 全神経を集中して連続性雑音に耳を澄ま すべし……………	中野 弘康	625(5)
おなか膨満している その 7 肝硬変のフィジカル —各論 2 多彩なフィジカルを押さえよう！ ……………	中野 弘康	793(6)
おなか膨満している その 8 肝硬変のフィジカル —各論 3 おなかばかりに気を取られてはならな い！……………	中野 弘康	967(7)
おなか痛い その 8 消化管穿孔のフィジカル —正常肝濁音界を修得すべし！ ……………	中野 弘康	1175(8)
おなか膨満している その 9 腎動脈狭窄症のフィジ カル—非消化器疾患でも常におなかのフィジカルに こだわるべし！……………	中野 弘康	1355(9)
便の色を見よう その 1 消化管出血のフィジカル —マグロにこだわりすぎた男性 ……………	中野 弘康	1561(10)
尿の色を見よう 黄疸のフィジカル ……………	中野 弘康	2001(12)
口のフィジカル—巨大な舌の背後に隠れた疾患は？ ……………	中野 弘康	2193(13)

【治らない咳、どう診る・どう処方する？】

間質性肺炎の咳嗽・喀痰……………	中島 啓	172(1)
------------------	------	--------

肺がんの咳嗽・喀痰……………中島 啓 410(2)

【ここが知りたい！ 欲張り神経病巣診断】

- ふらつきや飲み込みにくさーWallenberg 症候群/
症候性頸動脈狭窄症の内科的治療
……………難波 雄亮 178(1)
- 頭が痛くて眼が変な方向を向いてる！？ 外眼筋麻痺の
臨床②/眼瞼下垂の鑑別……………難波 雄亮 414(2)
- 足が動かない！ 脳梗塞？ 脊髄の臨床/脊髄梗塞の
症状……………難波 雄亮 606(3)
- 手と足が動かしづらい！ 脳梗塞？ 脊髄の臨床②/
脊髄梗塞の診断とビットフォール
……………難波 雄亮 774(5)
- 足がしびれる！ 脳梗塞？ 脊髄の臨床③神経根症の
症状その 1/腰部神経根症の病歴と診察法
……………難波 雄亮 934(6)
- 手がしびれる！ 脳梗塞？ 脊髄の臨床④神経根症の
症状その 2/頸部神経根症の病歴と診察法
……………難波 雄亮 1334(8)
- 足が背屈できない！ 脳梗塞？ 脊髄の臨床⑤神経根症
の症状その 3/下垂足の病歴と診察法
……………難波 雄亮 1534(9)
- 手がしびれる！ 脳梗塞？—手の末梢神経障害①/
手根管症候群の症状・原因・経過
……………難波 雄亮 1734(10)
- 手がしびれる！ 脳梗塞？—手の末梢神経障害②/
手根管症候群の診断と身体診察
……………難波 雄亮 1966(11)
- 手が動かない！？ 脳梗塞？ 手の末梢神経障害③/
手根管症候群の治療……………難波 雄亮 2161(12)
- 腰が痛い！ 普通の腰痛？ 足の末梢神経障害①/
外側大腿皮神経障害の臨床……………難波 雄亮 2375(13)

【主治医の介入でこれだけ変わる！

内科疾患のリハビリテーション】

- 摂食嚥下障害……………上月 正博 184(1)
- サルコペニア・フレイル……………上月 正博 423(2)
- がん……………上月 正博 598(3)
- 認知症 軽度認知障害(MCI)……………上月 正博 762(5)
- 肩痛……………上月 正博 954(6)
- 腰痛……………上月 正博 1150(7)
- 膝痛……………上月 正博 1324(8)
- 重複障害……………上月 正博 1546(9)

【医学古書を紐解く】

- 古書から何を学ぶか～『危く誤診せんとした経験集』
『最終講義』『誤診』……………綿貫 聡 192(1)
- 漫才のように面白い教科書～Felson B『Chest Roent-
genology』……………仲田 和正 420(2)
- 推理小説のように面白く、腹部画像診断に革命を起こ

- した本～Meyers MA『Dynamic Radiology of the
Abdomen』……………仲田 和正 596(3)
- 誰も気づかなかった変形性脊椎症、関節リウマチの
骨破壊機序～Resnick D, Niwayama G『Diagnosis
of Bone and Joint Disorders』……………仲田 和正 770(5)
- Philology のすすめ～中島文雄『英語学とは何か』,
渡部昇一『古語俗解』, Nuck A.『Adenographia
Curiosa et Uteri Foeminei Anatome Nova』……………清田 雅智 952(6)
- Sister Mary Joseph's Nodule と Hamilton Bailey
～Bailey H.『Demonstrations of Physical Signs
in Clinical Surgery』……………清田 雅智 1148(7)
- Cope's Phrenic shoulder pain と Joseph Capps
～Cope Z.『Early diagnosis of the acute abdomen』,
Capps JA.『An Experimental and Clinical Study
of Pain in The Pleura, Pericardium and Perito-
neum』……………清田 雅智 1340(8)
- 時を超えて偉人を側に感じる古書の魅力
～Heberden W.『Commentaries on The History
and Cure of Diseases』……………陶山 恭博 1530(9)
- オスラー博士から日野原先生へ 受け継がれていく
“平静と情熱の心”【前編】～Osler W.『Aequanimi-
tas』/日野原重明, 仁木久恵(訳)『平静の心』……………陶山 恭博 1726(10)
- オスラー博士から日野原先生へ 受け継がれていく
“平静と情熱の心”【後編】～Osler W.『Aequanimi-
tas』/日野原重明, 仁木久恵(訳)『平静の心』……………陶山 恭博 1984(11)
- Old-Fashioned Doctor からの助言
～Fred HL.『Looking Back (and Forth) ;
Reflections of an Old-Fashioned Doctor』……………須藤 博 2176(12)

【明日から主治医！ 外国人診療のススメ】

- 「外国人」とは誰か
……………富田 茂・沢田 貴志 756(5)
- 在日ベトナム人と医療：ベトナム人を診よう
……………橋本 理生 946(6)
- 在日ネパール人と医療：ネパール人を診よう
……………サツキャ サンディーブ 1158(7)
- 外国人診療に際して知っておきたいコミュニケーション
……………沢田 貴志 1329(8)
- 外国人診療に際して必要な準備
……………富田 茂 1520(9)
- 外国人を診るときに知っておきたい制度
……………富田 茂 1718(10)
- 外国人の生活習慣病……………高柳喜代子 1977(11)
- 多文化社会での周産期管理の工夫と課題：ネパール人
の産科診療を中心に……………古川 誠志 2178(12)

外国人を診るときに注意すべき感染症「結核」
……………高柳 喜代子 2356(13)

【ERの片隅で】

赤色アナフィラキシー……………関根 一朗 755(5)
シビれるしびれの問診……………関根 一朗 951(6)
異常な正常血圧……………関根 一朗 1147(7)
美味しい胸痛……………関根 一朗 1323(8)
コスパの良い主訴……………関根 一朗 1529(9)
わたしはAIになれないし、AIもわたしにはなれない
……………関根 一朗 1725(10)
ティッシュ山積みサイン……………関根 一朗 1983(11)
サーフィン初心者の対麻痺……………関根 一朗 2169(12)
傾聴と病歴聴取は似て非なるもの
……………関根 一朗 2355(13)

【事例から学ぶ 糖尿病のコーチングマインド】

なぜ糖尿病診療にコーチング？
……………執筆：松澤 陽子・森山由希子
監修：石井 均 1514(9)
承認～『承認』から始める～
……………執筆：佐藤 文彦・金子 由梨
監修：石井 均 1729(10)
伝える～患者自身の取り組みを尊重する～
……………執筆：金子 由梨・佐藤 文彦・
松澤 陽子
監修：石井 均 1971(11)
目標設定～目標達成に向けて共に考える～
……………執筆：松澤 陽子・横尾 英孝
監修：石井 均 2183(12)
自己基盤～自己基盤が整うと糖尿病と向き合えるよう
になる～
……………執筆：大石まり子・森岡 浩平
監修：石井 均 2362(13)

【知らないやばい！ リウマチ・膠原病のアレやコレ】

関節リウマチ治療中のヤバイ病態 その①
「血球減少」……………猪飼 浩樹 1710(10)
RA 治療中のヤバイ病態 その②
「間質性肺疾患」……………猪飼 浩樹 1958(11)
RA 治療中のヤバイ病態 その③
「頸椎病変」……………猪飼 浩樹 2170(12)
RA 治療中のヤバイ病態 その④
「単関節炎」—リウマチ加療中にも生じる化膿性関節
炎を見逃すな！(前編)……………猪飼 浩樹 2368(13)

【目でみるトレーニング】

問題 1042……………梶原 祐策 196(1)
問題 1043……………名嘉村 敬 197(1)
問題 1044……………寺田 教彦 198(1)

問題 1045……………岩崎 靖 429(2)
問題 1046……………梶原 祐策 430(2)
問題 1047……………寺田 教彦 431(2)
問題 1048……………岩崎 靖 612(3)
問題 1049……………梶原 祐策 613(3)
問題 1050……………寺田 教彦 614(3)
問題 1051……………岩崎 靖 780(5)
問題 1052……………玉野井徹彦 781(5)
問題 1053……………小島 俊輔 782(5)
問題 1054……………北井 勇也 940(6)
問題 1055……………友田 義崇 941(6)
問題 1056……………鈴木 智晴 942(6)
問題 1057……………和才 直樹 1163(7)
問題 1058……………金久保祐介 1164(7)
問題 1059……………相原 秀俊 1165(7)
問題 1060……………藤谷 淳 1342(8)
問題 1061……………玉野井徹彦 1343(8)
問題 1062……………岩崎 靖 1344(8)
問題 1063……………伊藤 恵介 1540(9)
問題 1064……………田中 宏明 1541(9)
問題 1065……………岩崎 靖 1542(9)
問題 1066……………岩崎 靖 1740(10)
問題 1067……………石瀬 裕子 1741(10)
問題 1068……………市村 尚之 1742(10)
問題 1069……………北井 勇也 1988(11)
問題 1070……………片山 皓太 1989(11)
問題 1071……………石塚 晃介 1990(11)
問題 1072……………副島裕太郎 2154(12)
問題 1073……………森川 昇 2155(12)
問題 1074……………藤本 亜弓 2156(12)
問題 1075……………藤本 亜弓 2381(13)
問題 1076……………蟹江 崇芳 2382(13)
問題 1077……………藤井 啓世・片山 皓太 2383(13)

【増刊号】

■ 探求！ マイナーエマージェンシー

I. 眼のエマージェンシー

眼が赤いんですけど、どうすればいいですか？—流行
性角結膜炎を見逃すな！……山中 俊祐 10(4)
コンタクトを使っていますが、眼が赤くて痛いんです
—緑膿菌感染症、角膜潰瘍を見逃すな！
……………山中 俊祐 16(4)
眼が赤くて、腫れて熱もあるんです—眼窩膿瘍、眼窩
周囲蜂窩織炎を見逃すな！……神川 洋平 20(4)
夜になって、眼が痛くて涙が止まりません—紫外線に
よる電気性眼炎を見逃すな！
……………岩村 晃 25(4)
眼にボールが当たって、うまく見えません—結膜下出
血と眼球破裂・前房出血を見極めろ！
……………東 裕之 28(4)

眼に何か入りました①—角結膜異物の除去法をマスターせよ！……………水野 晴貴 33(4)
眼に何か入りました②—化学性結膜炎はコンサルトする前に対処せよ！……………安藤 裕貴 36(4)

II. 鼻のエマージェンシー

鼻血が出て止まらないんです—専門医を呼ぶ前にまず自分で止めてみよう！……………泉 玲央 42(4)
子どもが鼻の中に何かを入れました—鼻腔異物除去をマスターせよ！
……………高橋 優二・梅木 寛・宗 謙次 48(4)
鼻折れてません？—眼窩底吹き抜け骨折を見逃すな！
……………西田 成 54(4)
膿性の鼻汁が続きます—抗菌薬の処方のタイミングは？……………小山 佳祐 59(4)

III. 耳のエマージェンシー

耳の中に入った物が取れないんです—耳内異物除去法をマスターせよ！……………千々和可怜 66(4)
耳の中に虫が入って出てこないんです—耳の中の虫ってどうやって取り出すの？……………吉田 英人 72(4)
耳が痛くて、吐き気がします—耳介周辺の帯状疱疹を見逃すな！……………前田 啓佑 76(4)
打撲後、音がよく聞こえませんか—鼓膜損傷を見逃すな！……………岡本 昌之 82(4)

IV. のどのエマージェンシー

のどに何か刺さりました—魚骨除去法をマスターせよ！……………宮岡 慎一・高橋 仁 88(4)
のどが腫れて痛いです—扁桃周囲膿瘍を見逃すな！
……………垣内 駿吾 92(4)
のどが痛くて、うまく話せず、飲み込めません—急性喉頭蓋炎・咽後膿瘍を見逃すな！
……………小迫 拓矢 98(4)
おじいちゃんが何か飲み込んだみたいなんです—ボタン電池・PTP 誤飲に要注意！……………伊禮 奏子 104(4)

V. 歯科口腔のエマージェンシー

顎が外れました—顎関節脱臼の整復法をマスターせよ！……………田中 惇也 110(4)
歯が欠けました—歯の破折、歯の脱臼を見極めろ！
……………増井 伸高 117(4)
唇にブツブツが出たんです—それは口唇ヘルペス？
口角炎？……………増井 伸高 122(4)

VI. 皮膚のエマージェンシー

体にブツブツが出たんです①—アナフィラキシーを見逃すな！……………石井 義洋 128(4)
体にブツブツが出たんです②—Stevens-Johnson 症候群(SJS)を見逃すな！……………石井 義洋 133(4)

急に顔が腫れました—顔面の皮膚疾患を見極めろ！
……………笠松 宏至 138(4)
子どもに急にブツブツが出たんです—小児独特の発疹を見極めろ！……………塩住 忠春・宮本 雄気 143(4)
足が急に腫れました、熱もあるんです—蜂窩織炎 vs 壊死性筋膜炎を見極めろ！……………勢理客晶子 153(4)
爪周りから膿が出ます—陥入爪の初期対応をマスターせよ！……………宮前 誠 158(4)

VII. 整形外科のエマージェンシー

肩が痛くて、外れたのかもしれませんが—肩関節の脱臼整復法を学ぼう！……………林 実 164(4)
指が引っかけたって変な方向に曲がりました—IP 関節の脱臼整復法を学ぼう！……………田下 大輔 170(4)
子どもの肩が上がらなくなりました—肘内障の整復法を学ぼう！……………秦 龍彦 176(4)
足をくじいて歩けません—足関節にまつわる落とし穴を学ぼう！……………狩野 謙一 180(4)
膝を捻って歩けません—膝関節にまつわる落とし穴を学ぼう！……………海透 優太 185(4)
三角巾、松葉杖が上手に使えません—いまさら聞けない使い方……………野々山忠芳 190(4)

VIII. 泌尿器科のエマージェンシー

おしっこが出なくなりました—尿閉・導尿・バルーンを入れるときのコツ……………多賀 峰克 196(4)
急に左下腹部が痛くなりました—精巣以外の痛みを訴えたときに注意！……………階戸 尊 201(4)
わき腹が痛い、七転八倒の痛みです—尿管結石にまつわるエトセトラ……………野田 透 206(4)
実は危険がいっぱい泌尿器感染症—早めに対応しないと敗血症に！……………和田 亨 212(4)

IX. 動物のエマージェンシー

飼いイヌに手を咬まれました—動物に咬まれたときはどうするの？……………岩田和佳奈 218(4)
山でダニに咬まれたかもしれません—山での昆虫咬傷について学ぼう！……………石本 貴美 225(4)
海で何かに刺された、何か踏みました—海での海洋生物による外傷を学ぼう！……………四本 仁寛 231(4)
ハチに刺されました！—ハチ刺されの初期対応、アナフィラキシーに注意……………辻本 佳久 236(4)

X. 神経・環境・中毒のエマージェンシー

体が冷たいんです、動けないです—低体温症の初期対応を学ぼう！……………茂見 瞭 242(4)
やけどして、水ぶくれができました—軽症熱傷の初期対応を学ぼう！……………峯岸 芳樹 246(4)
キャンプをしていて頭が痛くなりました—一見軽症に見える CO 中毒を見逃すな！

..... 永井 秀哉 251(4)	
風邪薬をたくさん飲んでしまいました—薬物中毒でも 早めの対応が必要なものも..... 安宅 伸人 256(4)	
なかなか眠れず、睡眠薬をたくさん飲んでしまいまし た—睡眠薬過量内服の初期対応を学ぼう 西川 佳友・鈴木 優子・森川華也子 260(4)	
子どもがおばあちゃんのお薬を飲んでしまいました —小児の薬物中毒は1錠でも危ない！ 矢島つかさ 265(4)	
呼吸回数が多くなり、手がしびれるんです—ペーパー バッグ法はもう古い！..... 福本 雄太 270(4)	
近所の人からもらったキノコを食べたら気分が悪くな りました—採らない、食べない、配らない！ 小川 史朗 274(4)	

XI. マイナー外傷でのエマージェンシー

釣り針が刺さって抜けません—上手な外し方を身に付 けよう！..... 清水 晶・武部弘太郎 280(4)	
すねをぶつけてケガをしました—下腿裂傷の対応は慎 重に..... 浦邊亮太郎 286(4)	
子どもが頭をぶつけました—小児の頭部外傷にCTは 必要？..... 成山 美々 291(4)	

XII. マイナーエマージェンシーのエコー活用術

こんなに役立つ超音波—まさかショック？びっくり どうしよう？..... 瀬良 誠 298(4)	
こんなところにも超音波①内科編—在宅でも使いこな せるとイイね！..... 岩見有希子 305(4)	
こんなところにも超音波②小さい外傷編—X線を撮る 前に使えるとイイね！..... 小淵 岳恒 309(4)	